

公益財団法人 会田病院

広報誌

あかり

特集

鼠径ヘルニアとは



公益財団法人
会田病院

Vol. **147**

2025年10月15日発行

特集

鼠径ヘルニアとは

外科 窪木 大悟 先生

「ヘルニア」とは体の組織が正しい位置からはみ出した状態をいい、「鼠径部」とは脚の付け根の部分のことを言います。

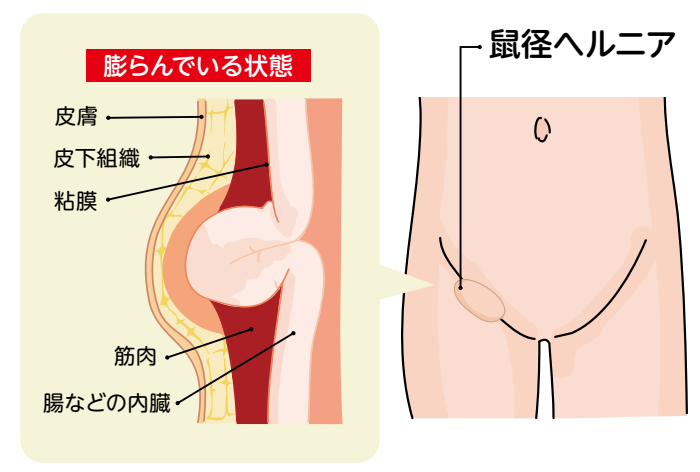
「鼠径ヘルニア」は、本来ならお腹の壁の内側で臓器を覆っているはずの腹膜が鼠径部の筋肉の隙間から皮膚の下に袋のようにはみ出てしまい、袋の中に臓器が脱出する病気です。腸が出ることも多いので「脱腸」とも呼ばれます。男性に多く、生涯において男性で3人に1人、女性で20人に1人の割合で発生する、非常にありふれた疾患です。

なぜ起るの？

鼠径部は、本来であれば筋肉の壁でしっかりと覆われています。しかし、何らかの原因でこの壁が弱くなると、お腹の中の圧力（腹圧）に耐えきれなくなり、隙間ができてしまいます。この隙間から臓器が飛び出してくることで、ヘルニアが発生します。

治療はどうするの？

一度できてしまった鼠径ヘルニアが自然に治ることはなく、**根本的な治療は、手術のみになります。**
手術は、ヘルニア囊の処理と、弱くなった筋肉の隙間をふさぐことが目的です。現在主流となっているのは、人工の膜（メッシュ）を用いて隙間を補強する方法です。メッシュを使用することで、再発率を下げるができます。



- 壁が弱くなる要因
- ・加齢
 - ・喫煙
 - ・遺伝的要因 など
- お腹の中の圧力（腹圧）が高まる要因
- ・重いものを持つ
 - ・慢性的な咳
 - ・仕事や運動
 - ・肥満
 - ・便秘
 - ・妊娠 など

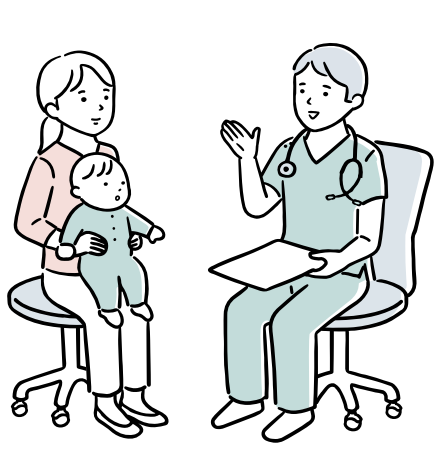
どんな症状があるの？

最も多い症状は、足の付け根のふくらみです。このふくらみは、咳をしたり、いきんだり、立ち上がったときなどに目立ちやすくなります。
初期は指で押すと引っこむ、または横になると自然に引っこみですが、症状が進むと戻りにくくなったり、戻らなくなったりします。
ふくらみのほかに、**痛みや違和感、突っ張る感じ、内臓が引っこ張られる感覚**のような症状が現れることもあります。



子どもの鼠径ヘルニア

こどもの鼠径ヘルニアは、産まれる前にある「精巣や卵巣が移動するため



手術後の生活

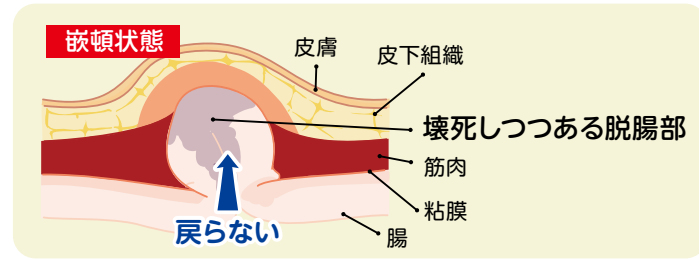
多くの場合、手術後数日で退院できます。退院後は、日常生活に大きな制限はありませんが、再発を防ぐため約1ヶ月は重いものを持ちたり、激しい運動をするのは控えましょう。

危険な症状「嵌頓」に注意！

特に注意が必要なのが、**嵌頓**と呼ばれる状態です。これは、飛び出した臓器が筋肉の隙間に挟まり、戻らなくなってしまうことです。**嵌頓が起ると、血流が悪くなり、放っておくと腸が壊死し命にかかわることもあります。**

嵌頓のサイン

- ・急激で強い痛み
- ・吐き気や嘔吐
- ・ふくらみが硬くなり、手で押しても戻らなくなる
- ・発熱
- ・お腹が張る



これらの症状が現れた場合は、すぐに医療機関を受診しましょう。もともと戻すことが難しければ、緊急で手術が必要になります。

まとめ

鼠径ヘルニアは、多くの人に起こりうる身近な病気です。年間約13万人の方が治療を受けている、最も多い外科手術です。

ふくらみや違和感を感じたら、放置せずに早めに受診し、適切な診断と治療を受けることが大切です。特に、嵌頓は危険な状態であり、すぐに相談してください。診療科は「外科」「消化器外科」です。

当院ではしっかりと術前検査の上で、麻酔科医、内科医と協力して安全な手術を心がけております。手術は前方アプローチ、腹腔鏡手術のいずれにも対応しており、患者さんにあった方法をご提示しています。症状で気になる方はぜひ一度、「相談下さい」。



窪木 大悟 医師
外来診察日・受付時間
月曜・水曜 8:00 ~ 11:30
13:00 ~ 16:30

福島県県南医療圏地域医療連携協定

8/21※



福島県県南医療圏の4病院（白河厚生総合病院、白河病院、塙厚生病院、会田病院）が8月21日、地域医療態勢の強化に向けた連携協定書を交わしました。

救急の日

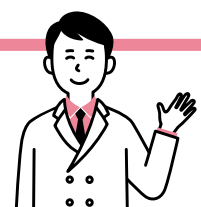
9/18※



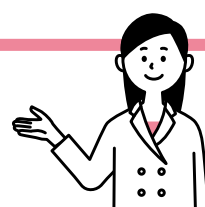
救急の日（9月9日）にちなみ、地域の皆様及び企業様を対象とした記念事業を「KOKOTTO」にて開催しました。

管内小中学校の夏休みに募集した書道、ポスター、標語の優秀作品を表彰。その後、記念講演として、東京医科大学 高齢総合医学分野 高齢診療科 主任教授 清水聡一郎先生をお招きし「認知症は怖くない！」を演題に、わかりやすく講演くださいました。

記念講演後、矢吹消防署救急隊の指導のもと、AEDを用いた心肺蘇生法の実技も行いました。来場者の方にも実際に行っていただき、心肺蘇生法の手順と大切さについて学ばれていました。



TOPICS



リハビリ室で運動体験しよう！ 糖尿病教室～運動療法編～のご案内

日時 2025年11月13日14:00～1時間程度（第2木曜日 開催）

場所 会田病院 3階講義室

講師 糖尿病担当医 内科 河野 知典
理学療法士 和田 碧
安齋 光男

お申し込み・お問い合わせ

公益財団法人
会田病院
TEL: 0248-42-2121
糖尿病教室担当係まで

予告

12月は栄養科
「お食事のお話」



NEWS（お知らせ） × INFO（情報） × EVENT（行事）

高校生1日看護体験

7/23※



福島県看護協会の主催で高校生一日看護体験が開催され、5名の高校生が当院で体験しました。看護師と同じユニフォームに着替え、看護体験のスタートです。患者さんに直接関わる時間を設け、患者さんの笑顔もみることができました。様々な看護の仕事を体験し、参加された学生さんから「より看護師を目指したいという気持ちになりました」とあり、私たち自身も看護の魅力を再確認できました。

祭 矢吹夏まつり 踊り流し

8/2※



矢吹町、夏の恒例行事である踊り流しに約30名の職員が参加しました。地域の方々と交流を楽しみながら、笑顔で踊り、祭りを大いに盛り上げました。今後も地域に貢献できる活動を積極的に行っていきます。

医療の仕事体験フェア

8/2※



「第2回 公益財団法人会田病院 医療の仕事体験フェア」を開催し、27名の高校生に参加いただきました。看護師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、リハビリ職、事務職など6コースに分かれ、仕事の見学や体験を行いました。



管理栄養士

「食べることは生きること」と表現されるように、食べる事は身体の栄養補給だけでなく、心を豊かにするものだと感じています。

入職して3年目となり、回復期病棟の担当として心掛けていることは、会話を通じて患者様と向き合い、信頼関係を築くことです。患者様から退院後の食事管理が不安だという声をよく耳にします。私自身食べる事が大好きで、今日は何を作るかと考えることが楽しいと感じていますが、中には苦痛だと感じる方もいらっしゃると思います。好きな物や退院後に食べたい物を聞きながら、患者様が食べられる内容で、量や頻度などを一緒に目標設定するよう心掛けています。時には、初めて知る食材や料理に出会うこともあり、患者様から学ぶことも多くあります。栄養指導は難しい内容だと思われがちですが、その人らしく生活できるように個性のある指導を大切に患者様と関わることで、まずは始めてみようかな？ 病院食も勉強になるね！と声をかけていただく事が増え、嬉しく感じています。

回復期には生活習慣病を合併している方も入院されており、福島県の糖尿病患者数が増加傾向にあることを踏まえ、更なるステップアップとして、糖尿病の専門指導に特化した福島県糖尿病療養指導士の資格取得へ向け取り組んでいます。管理栄養士としてはまだまだ未熟ですが、患者様に寄り添うことを第一に、医療チームの一員として栄養維持・向上に繋がってまいります。

笑顔を守る存在に



行事食紹介 敬老の日

お品書き

- ・散らし寿司
- ・厚揚げのきのこあんかけ
- ・ほうれん草の胡麻和え
- ・南瓜の甘露煮
- ・水ようかん

日本には四季折々の行事がありますが、その中でも9月15日「敬老の日」は、健康と長寿を祝い、日頃の感謝と敬意を伝える大切な日とされています。当院では、お祝いの定番で彩り華やかな散らし寿司や、さっぱりとした甘さが特徴の水ようかん等、日頃の感謝を込めた献立を提供しました。

患者様からは「散らし寿司、美味しくて全部食べました!」「水ようかん、甘いもの好きだから嬉しい。」などの感想をいただきました。

写真は1日当たり1800kcal 管理の内容となっております。

医師 紹介



内科 高見澤 慶大
高年齢診療科 医師

2025年5月より勤務させていただいております、高見澤慶大と申します。神奈川県川崎市出身で、2023年に日本医科大学を卒業しました。東京医科大学病院での研修後に会田病院で内科・高年齢診療科として働いています。外来・入院診療ともに、病状や治療の目的について、わかりやすい説明を心掛けています。お困りの事だけでなく、不明な点が御座いましたら気軽にご相談いただければ幸いです。地域の皆様により良い医療が提供できるよう、努めます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

診察日・受付時間

月曜 | 8:00~11:30
火曜 | 13:00~16:00
金曜 | 8:00~11:30(第1・3・5週)



消化器内科 医師
みなみ ひろと
南 裕人

10月から消化器内科として勤務させていただくこととなりました、南裕人と申します。

専門は胆道・脾臓領域の疾患で、10年近く東京医科大学病院に勤務し、臨床・研究に従事しておりました。今回縁あって初めて東北の地で働かせていただくこととなり、少しでも早く地域の皆様に親しみを感じていただけるよう、努力致します。出身は南国鹿児島、初めて東北の冬を越すことに不安しかございますが、皆さん温かい目で見守っていただければと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

診察日・受付時間

火曜・水曜 | 13:00~16:30
木曜・土曜 | 8:00~11:30

② スタッフ募集中

共に働くスタッフを募集しています。地域に根ざし、愛され、心が通う病院づくりに積極的に取り組み、地域社会に貢献したいと思っています。募集内容は当院ホームページをご覧ください。

[お問い合わせ] 人事・経理課

[電話] 0248-42-2121

[メールアドレス] ahp@aida-hp.or.jp

[ホームページ] <https://aida-hp.or.jp/recruit/>





会田病院の理念

かけがえのない、ひとり一人の命と
健康を守るために、最良の医療を提供し、
保健・医療・介護・福祉の充実をはかり、
地域社会に貢献します。

公益財団法人 会田病院

理事長 会田 征彦

〒969-0213 福島県西白河郡矢吹町本町216番地

☎ **0248-42-2121** 

FAX 0248-42-2348 WEB aida-hp.or.jp

併設 健診センター

〒969-0213 福島県西白河郡矢吹町本町216番地
TEL 0248-42-3592 FAX 0248-42-2226

併設 すみれ訪問看護ステーション

〒969-0213 福島県西白河郡矢吹町本町198番地
TEL 0248-44-2566 (FAX兼)

併設 会田病院指定居宅療養管理指導事業所

〒969-0213 福島県西白河郡矢吹町本町198番地
TEL 0248-42-5407 (FAX兼)

併設 すみれ介護相談センター

〒969-0213 福島県西白河郡矢吹町本町198番地
TEL 0248-42-3755 FAX 0248-42-3781

併設 会田通所リハビリテーション

〒969-0213 福島県西白河郡矢吹町本町260番地
TEL 0248-42-2260 FAX 0248-42-2135



無料送迎バスのご案内

会田病院では、ご自宅と病院を無料でつなぐ送迎バスを運行しています。ご予約は下記までお気軽にお電話ください。

ご予約時間 月～金 13:00～16:30 | 土 9:00～12:00

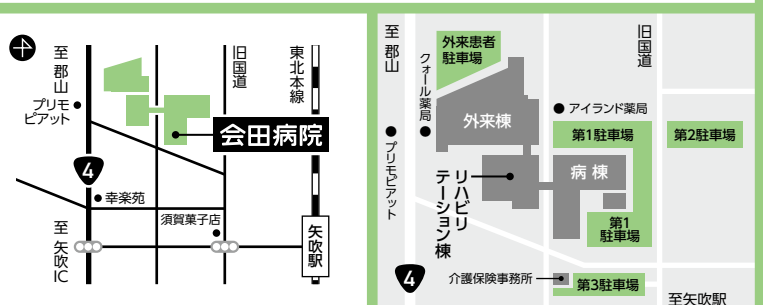
ご予約はコチラ **0248-42-2121**

① ご予約は送迎前日の午後4時30分までにお願いします。

② 乗車時間はご指定いただけません。



アクセスと駐車場のご案内



外来診療担当について

外来診療担当は、当院のホームページにてご確認ください。院内で配布している「外来診療担当のご案内」をご覧ください。

[ホームページ]
<https://aida-hp.or.jp/attending/>



ご意見ご感想を募集中です

「あゆり」に関するご意見、ご感想を募集しております。特集してほしい内容や改善ポイントなど内容は問いません。宛先は下記の通りです。

[宛先] 福島県西白河郡矢吹町本町216番地
公益財団法人会田病院 広報編集委員会
[メールアドレス] ahp@aida-hp.or.jp

[発行]
公益財団法人会田病院

[編集]
広報編集委員会

[発行日]
2025年10月15日